

第5・6学年 学級活動（1）指導案

日時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

場所 〇〇小学校 〇・〇年教室

指導者 八代市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

1 議題 異学年での修学旅行を実りのあるものにしよう（1）一ウ

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級は、5年生が〇人（男子〇人、女子〇人）、6年生が〇人（男子〇人、女子〇人 うち特別支援学級男子児童〇人含む）の計〇〇人の複式学級である。本学級の児童は明るく元気で、素直な児童が多い。休み時間になると学年関係なく仲良く話したり、楽しく遊んだりすることができる。4月から高学年になり、委員会や運動会などの大きな行事での役割や様々な活動を通して、6年生は最上級生として〇〇小学校を引っ張っていかうとする姿、5年生は〇〇小学校を支えていかうとする姿が見られるようになったところである。

学級活動については、4月に学級会のオリエンテーションを実施し、学級会の進め方や話合いの約束などについて共通理解を図った。その後、「運動会のスローガンを決めよう」「学級の絆を深めるための遊びを企画しよう」「みんなが気持ちよく使える更衣室のルールを決めよう」などの議題で話し合い、実践を積み重ねてきた。これらの実践を通して、学級会の進め方や意見の言い方、計画委員の仕事の仕方なども少しずつではあるが身に付けることができた。

しかしながら、これまでの学級会の様子を振り返ると、理由を述べるだけで具体的に説明して相手を説得させる意見が少なかったり、論点からずれてしまったりすることがある。また、相手の意見を尊重しながらよりよい意見を練り上げていかうとする折り合いの力も付いていないのが現状である。

学級会を通して、自分たちで計画的に話し合い、相手の意見を尊重しながら、よりよい学級会にしていこうとすることで、お互いの成長を認め合い、協働して学級をよくしていこうとする態度を育てていきたい。

(2) 議題選定の理由

本議題は、議題箱へ提出されたものである。本学級は9月26日（木）から1泊2日、5・6年生合同で長崎へ修学旅行に行く。本学級の児童は修学旅行を大変楽しみにしているとともに、「平和について長崎でしっかり学びたい」「修学旅行を通して5・6年生の絆を深めたい」という強い思いがある。そこで、いくつか出された意見を計画委員で集約し、議題として選定した。

修学旅行を通して平和について学ぶとともに、異学年同士の間人間関係を築きながら、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていかうとする態度を養ってきたい。

3 資質・能力を育むための学びの過程における支援の工夫

【つかむ段階】昨年度の修学旅行の様子を提示し、「異学年での修学旅行が実りあるものにするためには」という問いかけを行う。その中で、二つの小柱を提示し、話合いの流れを全体で共有する。

【深める段階】学級会において、提案理由を振り返り、話合いのめあてや内容、流れを共有する。話合いでは、賛成や疑問を共有し、折り合いを付けながら内容を収束していく。そのために、出された考えを短冊で黒板へ提示し、意見を可視化・構造化しながら話合い活動を進めていく。

【生かす段階】修学旅行に向けて事前学習を行うとともに、話し合った内容を計画し、

実践していく。このような取組を通して、活動への達成感や自己有用感を高め、学級・学校生活への参画意識を高めていく。

4 目標

- (1) 議題に対する自分の考えをもち、話し合いの進め方やよりよい合意形成を理解し、決定したことについてみんなで実践することの意義や方法を身に付けている。

【知識及び技能】

- (2) よりよい学級や学校生活づくりに向けて考え、判断し、多様な意見を生かして合意形成を図り、建設的に話し合っている。

【思考力・判断力・表現力等】

- (3) 修学旅行に向けて主体的に話し合い、他者と協働しながら、積極的に参画していこうとする態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】

5 資質・能力を育むための学びの過程（活動計画）

段階	過程	日時	児童の活動	指導上の留意点	育む主な資質・能力
つかむ段階	課題の発見・確認	9/5（木） 昼休み	○第1回計画委員会 ・議題の確認 ・提案理由の話し合い ・小柱の確認	○話し合いの目的を明確にする。	【知識・技能】 話し合いの進め方などを理解し、教師の指導・助言の下、活動計画を作成する。 【思考力・判断力・表現力等】 クラスの意見を事前に集約、分類し、話し合いの論点を明らかにする。計画的な話し合いの準備を進める。
		9/10（火） 朝の時間	○学級会ノートへ自分の意見を記入	○昨年度の修学旅行の様子を写真などで紹介する。	
		9/12（木） 昼休み	○第2回計画委員会 ・意見の集約 ・板書計画 ・予想	○学級会ノートでどのような意見が出てきたのかを確認する。	
深める段階	解決方法の話し合い・決定	9/17（火） 第6校時	<p>議題 5・6年生ならではの修学旅行にするための企画（遊び）を考えよう</p>		
生かす段階	決めたことの実践	9/18（水） ～ 9/25（水）	○計画を作成する。 ○企画の準備を行う。 ○学級全体で最終確認を行う。 ○修学旅行を行う。	○計画担当者などの割り振りを行う。	【学びに向かう力・人間性等】 自分の役割を自覚し、見通しをもって計画的に活動を行っている。 【思考力・判断力・表現力等】 活動を振り返り、反省したことや学んだことを今後の学級生活に生かそうとしている
		9/26（木）・ 27（金）			
	振り返り	9/30（月） 第1校時	○修学旅行を終えての振り返りを行う。	○これまでのあゆみや活動を振り返り、達成感と有用感を味わうことができるようにする。	

6 本時の目標

- 修学旅行を通して、異学年でのよりよい人間関係を築いていきたいという目的を意識しながら話し合いを進め、折り合いを付けながら考えることができる。
- 話し合いを通して、児童一人一人が他者のためにすべきことを考え、実践していこうとする態度を育てる。

7 本時の展開

段階	話し合いの流れ	児童の活動	支援と評価（資質・能力）
つかむ 5分	1 はじめの言葉	○これまでの活動を振り返り、提案理由やめあてを確認する。	○話し合いの目的を明確にするために、前時に決定した修学旅行のローガンや「何のための修学旅行なのか」を話し合いの出発点である提案理由で確認する。 ○自信をもって発言することができるように、学級会ノートに事前に記入し、教師の励ましのコメントを添えておく。
	2 役割紹介		
出し合う く ら べ 合 う 30分	3 話し合いのめあての確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 5・6年生ならではの修学旅行にするための企画（遊び）を考えよう。 </div>	○小柱①では、事前に考えた言葉を掲示しておく。また、友達の意見を確かめ、発言を確認してつなげられるようにする。 ○小柱②では、異学年交流を意識した注意点を話し合う。
	4 議題・提案理由の確認	【予想される話し合いのめあて】 ・友達の意見と比べながら自分の意見を言おう。 ・大きな声で自分の考えを堂々と言おう。	
	5 決まっていることの確認	【予想される話し合い】 小柱① ・「修学旅行クイズ」をしたら勉強にもなると思う。 ・「覚えてしりとり」をしたら頭を使うのでバス酔いをする人が減ると思う。 ・「なぞなぞ大会」を行えばみんなで盛り上がると思う。	
	6 話し合い 小柱① 「バスの中で行う企画（遊び）を考えよう」	小柱② ・バスの席を5・6年生で隣同士にする。 ・企画の詳細を5・6年生がペアになって考えるといい。	
まとめ る 5分	7 決まったことの確認	○計画委員会を中心に話し合いを収束させ、決まったことをまとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【思考力・判断力・表現力等】 5年：出てきた意見に対して、提案理由などの観点に照らし合わせながら、よりよい意見を出したり、友達の考えに付け加えたりするなどして意見を出している。 6年：出てきた意見に対して、提案理由などの観点に照らし合わせながら、建設的に意見を出したり、折り合いを付けたりするなどして意見を出している。 </div>
	8 振り返り	○よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点などについても相互評価できるようにする。	
振り返り 5分	9 担任の話	○前回の話し合いの様子と比べて成長したとことを伝える。	○学級会ノートに自己評価や相互評価ができるようにしておく。 ○異学年のペアに振り返りの様子を伝えるようにする。 ○実践への意欲を高めることができるようにする。
	10 終わりの言葉	○時間があれば、計画委員が今日の話し合いの感想を述べる場を設ける。	